	課題分析	授業改善策	改善状況
			以古狄ル
国語	○問題文を適切に読み取り、答えを導くことに謂いばなる	○本文の読み取りは意欲的に行うことができて いるが、問題文の詩な思いを行う、問いは、どのと	
	に課題がある。	いるが、問題文の読み取りを行う。問いは、どのよ	
		うな言葉や単語を求められているのか、考え記述	
		する授業を行う。記述後に読み直し、問いに対し	
		て正対しているかを確認していく。	
	○自分の考えをもつことに課題がある。	○書かれていることや書かれていないこと、心情	
		等を読み取るだけにならないよう、自分の考えを	
		まとめる。また、自分の考えを共有できる時間をと	
		3 .	
	○知識・理解の定着に個人差がある。	○毎時間、前時の確認小テスト行い、知識の定	
		着を図る。また、タブレットを活用し、分かりやす	
社		い授業を行う。	
会	○既習事項を生かして文章を書くことが苦	○自分事を意識できる単元を貫く問いをたて、既	
	手な生徒が多く、思考力・表現力に課題	習事項を活用し、その問いに迫る振り返りを行う	
	がある。	ことで、思考力・表現力を高める。	
	〇全国学力・学習状況調査の結果を見る	○習熟に合わせた課題に取り組むことで、基礎	
	と、全国・都の平均正答率を概ね上回ってい	基本となる知識・技能の定着を図る。	
	る。しかし、数に関する知識、データの活用の	○小テストや単元テストを取り入れ、課題や単元	
	設問では、都の平均を下回る結果もあった。	ごとに習得の確認を行う。	
数			
学	〇基本的な計算や知識が身に付いている生	○思考力を養う問題や発展的な内容には、常に	
	徒は多いが、既習事項を活用した発展的な	既習事項を確認しつつ、好奇心をもって課題に取	
	問題や思考・判断・表現を要する問題になる	り組めるようにグループ活動を取り入れたりしな	
	と、身につけていたはずの知識を活用できな	がら、最終的には個人で問題を解決できる力を	
	い生徒が多い。	養う。	
	○理科に対して興味をもち意欲的に学習で	○調べ学習や個人・班での学習時間をしっかりと	
	きる生徒が多く、分からないところは、分かる	確保することで、主体的に学習できる場面を多く	
	まで理解しようしているが、知識・理解の定	設ける。授業の導入時に前時の確認を行う。	
	着に個人差がある。		
理			
科	○学習した内容を利用した発展的な思考が	○基礎的な学力を定着させることで、発展的な	
	もてない生徒が多く見られる。	内容へ自ら取り組める糸口をつくっていく。話し	
		合い活動を増やし、教員側からの思考のヒントも	
		的確に与えることで、多角的に考察できる力を高	
		める。	

音楽	○主体的に学習に取り組む生徒がほとん	○歌唱表現活動では毎時間決まった呼吸練習
	である。知識・技能に差がある。	と発声練習を行い、手で音程を表現してから声
		で表現して技能を高める。プリントで楽曲の背
		景や作曲者の意図、曲想と音楽の構造の関わり
		など理解を深めさせる。
	○音楽の要素を知覚・感受する力に差がみ	○楽曲に使用されている楽語や記号の意味を
	られる。	理解するだけでなく、なぜ用いられたのかプリ
		ントに書かせてグループや全体で共有する。ふ
		さわしい表現を試行錯誤してお互いに聞き合
		う。
美術	○自ら主題を見つけ、表現することに意欲的	○参考作品や生徒の作品を使って事前に表現方
	な生徒はいるが、絵を描くことに対して苦手	法や工夫の仕方、それによる効果などを学ぶイン
	意識があり、手が止まる生徒が多い。	プットの時間を増やす。また、基本的な技法を練
		習することで制作の手が進むようにする。
	○課題をよく思考せずに、終わらせるといっ	○学習カードやワークシートへの記述が充実した
	た姿勢の生徒が見られる。また自分の考え	ものになるように、わかりやすい発問を考えたり
	や制作の工夫を記述することに課題がある。	評価基準を明記したりする。
保健	○運動活動自体は意欲的だが、動きのポイ	○ポイントの確認や動きの連続性をもたせて、前
	ントやより良い動き方を意識して取り組むこ	次の確認を行う。
	とに課題がある。	○到達点を明確にし、手本を見せて可視化して理
体		解を深める。
育	○グループ活動では、限られた数人の意見	○グループ活動の人数を少人数にして、意見交
F	が作戦となってしまい、合意形成が図れてい	換や活動時間の確保をする。
	ない。	
技術	○特定の生徒の発言があると、自ら表現し	○生徒の意見を導き出せるよう発問を工夫して
	ようとする態度が消極的になる生徒がいる。	発表の機会を増やしていく。
家	○課題設定ごとの製作において、道具を活	〇評価基準を丁寧に伝え、小さな課題設定とそ
庭	用してものを組み立てることに苦手意識をも	れに対する振り返り、次回への展望がもてるよう
	っている生徒が多い。	声掛けを行う。
外国語	○既習事項の文法や指示語に関する部分	○ペアワークや帯活動の中で、既習事項を取り
	で定着に課題がある。	扱い、復習をする時間を確保する。
	○長文読解や会話活動に対して苦手意識	○帯活動を繰り返し、会話活動を増やす。また、
	がある生徒が多い。	長文問題を解く時間を確保する。
1		1